



## 第32回 日本製鉄音楽賞 受賞者決定のお知らせ

第32回日本製鉄音楽賞の受賞者は、以下の通り決定しましたので、お知らせいたします。

### 第32回 日本製鉄音楽賞

《フレッシュアーティスト賞》副賞 300万円

佐藤晴真 さとう はるま (チェロ)

#### 【贈賞理由】

2019年のミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門において日本人として初めて優勝し、一躍国際的に注目を集めることとなった。その後の演奏会での目覚ましい活躍ぶりもさることながら、そのどれもが高い水準の演奏であり、最高の評価を得ている。日本を代表するチェリストになるであろう逸材として大きく期待される。

(江口玲選考委員)

《特別賞》副賞 100万円

広渡 勲 ひろわたり いさお (プロデューサー、演出家)

#### 【贈賞理由】

現場を知り尽くした綿密な仕事ぶり、出演者とスタッフを纏める目配りの細やかさ。広渡さんは長きにわたり舞台監督として数々の舞台製作に従事し、質の高い公演を作り上げてきた。最近もなお、昨年兵庫の《メリー・ウィドウ》演出など活発に活動を展開している。わが国の舞台音楽界での彼のこれまでの業績を高く評価し、今回の贈賞となった。

(寺西基之選考委員)

なお、第32回日本製鉄音楽賞の贈呈は、2022年3月31日(木)に日本製鉄株式会社本社において行います。また、贈呈とは別に、受賞記念コンサートを、2022年7月に開催予定です。

Make Our Earth Green



## 第 32 回日本製鉄音楽賞 フレッシュアーティスト賞

### 佐藤晴真 さとう はるま (チェロ)

生年月日：1998 年 2 月 27 日 出身：名古屋

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019 年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18 年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第 1 位および特別賞を受賞している。ほかにも全日本学生音楽コンクール第 1 位および日本放送協会賞、日本音楽コンクール第 1 位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・



チェロコンクール第 1 位、アリオン桐朋音楽賞など多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。NHK テレビ、NHK-FM にもたびたび出演。18 年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19 年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20 年 11 月には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses～ブラームス作品集～』をリリース。21 年 11 月には、セカンド・アルバム『SOUVENIR～ドビュッシー&フランク作品集』をリリース。これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイェンス・ペーター・マインツ氏に師事している。13 年東京都北区民文化奨励賞受賞。15 年ヤマハ音楽振興財団奨学生。16 年度東京芸術大学宗次特待奨学生。18 年ロームミュージックファンデーション奨学生。20 年、第 18 回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第 30 回出光音楽賞受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与された E.ロッカ 1903 年製。

Make Our Earth Green



## 第 32 回日本製鉄音楽賞 特別賞

# 広渡 勲 ひろわたり いさお (プロデューサー、演出家)

生年月日：1940 年 12 月 3 日 出身：福岡県福岡市

早稲田大学第 1 文学部演劇専修を卒業後東宝演劇部に所属。1965 年東宝在籍中にハワイ大学に 1 年間留学、その後アメリカイギリスフランスドイツイタリア等、欧米の劇場を視察して帰国。

東宝では菊田一夫の演出助手、また舞台監督として『ラ・マンチャの男』（日本初演）、『風と共に去りぬ（スカーレット）』等、帝劇開場時のミュージカルや、『奇跡の人』（日本初演）をはじめ、森繁久弥、美空ひばりが主演する商業演劇を数多く手がける。一方、松本白鸚（現二代目松本白鸚、中村吉右衛門の父）率いる「東宝劇団」や「木の芽会」の演出部（狂言作者）として、帝国劇場、国立劇場等、歌舞伎公演にも数多く参加、歌舞伎への造詣を深める。

1970 年「アメリカ・バレエ・シアター」来日公演を契機にジャパン・アート・スタッフに移籍。

日本舞台芸術振興会（NBS）及び傘下の東京バレエ団の制作プロデューサーとして、「ミラノ・スカラ座」「ウィーン国立歌劇場」「メトロポリタン歌劇場」「バイエルン州立歌劇場」「ベルリン・ドイツオペラ」「ベルリン州立歌劇場」「英国ロイヤル・オペラ」等、世界の主要歌劇場や、「パリ・オペラ座バレエ団」「英国ロイヤル・バレエ団」「デンマーク・ロイヤル・バレエ団」「モーリス・ベジャール・バレエ団」「ボリジョイ・バレエ団」など、世界的なバレエ団を数多く招聘し、技術監督を兼ねる総合プロデューサーとして、プロダクションとテクニカルの両面を兼任して公演を成功に導く。

これらの公演を通して、指揮者のバーンスタイン、クライバー、ムーティ、メータ、バレンボイム、演出家のゼフィレリ、フリードリヒ、コンヴィチュニー、振付家ベジャール、ノイマイヤー、キリヤン、パントマイムのマルセル・マルソーにいたるまで、多岐にわたる海外の著名な芸術家との交流を深める。

現在、日本のスタッフの中で海外の主要歌劇場やバレエ団に最も精通しているプロデューサーの一人といわれる。2002 年 NBS 退社。

●演出家としては 2004 年「アグネス・バルツァ＝ギリシャを歌う」をはじめ、「麻実れい」や「佐藤しのぶ」の公式サイトを継続的に担当、オペラティックでドラマティックな独自の美的空間の創造で注目を集める。2008 年、兵庫県立芸術文化センターにおける喜歌劇《メリー・ウィドウ》（佐渡裕指揮）の演出を担当、12 回ロングラン公演を大成功に導く。2011 年《こうもり》（佐渡裕指揮）で再登板。全 8 回公演を完売しこの 2 つの公演で観客動員総数 4 万人という記録を達成する。

2003 年「昭和音楽大学音楽芸術運営学科主任教授」就任。2011 年退任。「客員教授」就任。

2003 年「文部科学省特別補助オープンリサーチ・センター整備事業研究総括者」就任。

2004 年「東京藝術大学応用音楽特殊ゼミ講師」就任。2008 年退任。

2015 年「福岡文化財団理事」就任。同財団主催「NCB 音楽祭」の総監督兼任。

●2000 年フランス共和国政府から「芸術文化勲賞シュヴァリエ」叙勲。



Make Our Earth Green



# 日本製鉄音楽賞

*Nippon Steel Music Awards*

日本製鉄音楽賞（旧称・新日鉄音楽賞、2012 [平成 24] 年 10 月より新日鉄住金音楽賞、2019 年 4 月 1 日より現行に改称）は、1990 年（平成 2 年）に旧新日鉄創立 20 周年と、同社が提供してきた「新日鉄コンサート」放送 35 周年を記念して設けられた音楽賞です。この賞を通して、日本の音楽文化の発展と、将来を期待される音楽家の方々の一層の活躍を支援することを目的としています。

## 【賞の概要】

### フレッシュアーティスト賞 [賞状/副賞 300 万円]

将来を期待される優れたアーティストを対象とした賞。

選考方針としては、技術のみにかたよらず、音楽性、将来性を重視し、広い範囲から選出。その年の最優秀者を決定し、賞を贈る。

### 特別賞 [賞状/副賞 100 万円]

クラシック音楽をベースにした活動を行っている個人を対象とした賞。

幅広いジャンルのなかから、演奏会を支えるなど音楽文化の発展に大きな貢献を果たした方に対して、賞を贈る。

## 【選考委員】

寺西基之（音楽評論家）

上田弘子（音楽評論家）

山野雄大（音楽評論家）

江口 玲（ピアニスト・東京藝術大学教授）

山崎伸子（チェリスト・桐朋学園大学特任教授・東京藝術大学名誉教授）

---

日本製鉄株式会社

日本製鉄音楽賞運営事務局

（公益財団法人 日本製鉄文化財団 受託事業）

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 6 番 5 号

電話 03-5276-4500（代表） FAX 03-5276-4527

---

Make Our Earth Green



日本製鉄音楽賞（旧・新日鉄音楽賞／新日鉄住金音楽賞） 歴代受賞者

第1回（1990年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>諏訪内晶子</b> (ヴァイオリン) 特別賞／ <b>松本美和子</b> (ソプラノ)
第2回（1991年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>長谷川陽子</b> (チェロ) 特別賞／ <b>宮崎隆男</b> (ステージ・マネージャー)
第3回（1992年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>服部譲二</b> (ヴァイオリン) 特別賞／ <b>田中希代子</b> (ピアノ)
第4回（1993年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>田部京子</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>千葉馨</b> (ホルン)
第5回（1994年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>本名徹次</b> (指揮) 特別賞／ <b>森島英子</b> (オペラ・コレペティトール)
第6回（1995年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>菅英三子</b> (ソプラノ) 特別賞／ <b>三浦尚之</b> (ミュージック・フロム・ジャパン代表)
第7回（1996年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>川本嘉子</b> (ヴィオラ) 特別賞／ <b>鶴田昭弘</b> (ピアノ調律師)
第8回（1997年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>樫本大進</b> (ヴァイオリン) 特別賞／ <b>小川昂</b> (音楽史料研究家)
第9回（1998年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>横山幸雄</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>吉井實行</b> (仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局長)
第10回（1999年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>佐藤美枝子</b> (ソプラノ) 特別賞／ <b>瀧淳</b> (アート・マネージャー)
第11回（2000年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>木村大</b> (ギター) 特別賞／ <b>永田穂</b> (永田音響設計 特別顧問)
第12回（2001年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>高木綾子</b> (フルート) 特別賞／ <b>伊藤京子</b> (別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー)
第13回（2002年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>小菅優</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>杉理一</b> (ニューオペラ・プロダクション代表)
第14回（2003年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>天羽明恵</b> (ソプラノ) 特別賞／ <b>井阪紘</b> (音楽プロデューサー)
第15回（2004年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>植村理葉</b> (ヴァイオリン) 特別賞／ <b>栗山昌良</b> (演出家)
第16回（2005年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>木下美穂子</b> (ソプラノ) 特別賞／ <b>青木十良</b> (チェロ)
第17回（2006年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>下野竜也</b> (指揮者) 特別賞／ <b>村上輝久</b> (ピアノ調律師)
第18回（2007年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>上原彩子</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>木之下晃</b> (写真家)
第19回（2008年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>クアルテット・エクセルシオ</b> (弦楽四重奏) 特別賞／ <b>金山茂人</b> (財団法人東京交響楽団理事・最高顧問)
第20回（2009年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>河村尚子</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>青木賢児</b> (財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長)
第21回（2010年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>長原幸太</b> (ヴァイオリン・大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター [当時]、 現読売日本交響楽団コンサートマスター) 特別賞／ <b>豊田耕兒</b> (ヴァイオリン・社団法人 才能教育研究会芸術監督)
第22回（2011年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>萩原麻未</b> (ピアノ) 特別賞／ <b>室井摩耶子</b> (ピアノ)
第23回（2012年度）	フレッシュアーティスト賞／ <b>松田理奈</b> (ヴァイオリン) 特別賞／ <b>栗本尊子</b> (メゾ・ソプラノ)

Make Our Earth Green



- 第 24 回 (2013 年度) フレッシュアーティスト賞／福士マリ子(ファゴット)  
特別賞／岩崎 淑(ピアノ)
- 第 25 回 (2014 年度) フレッシュアーティスト賞／岡本侑也(チェロ)  
特別賞／ひのまどか(音楽作家)
- 第 26 回 (2015 年度) フレッシュアーティスト賞／三浦友理枝(ピアノ)  
特別賞／山田正幸(ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭事務局チーフ・プロデューサー)
- 第 27 回 (2016 年度) フレッシュアーティスト賞／服部百音(ヴァイオリン)  
特別賞／小栗哲家(プロデューサー・舞台監督・技術監督)
- 第 28 回 (2017 年度) フレッシュアーティスト賞／景山梨乃(ハープ)  
特別賞／該当者なし
- 第 29 回 (2018 年度) フレッシュアーティスト賞／葵トリオ(ピアノ三重奏団)  
特別賞／林喜代種(舞台写真家)
- 第 30 回 (2019 年度) フレッシュアーティスト賞／大西宇宙(バリトン)  
特別賞／小林道夫(清里音楽祭創設・音楽監督、ゆふいん音楽祭音楽アドバイザー、  
ピアニスト、チェンバリスト)
- 第 31 回 (2020 年度) フレッシュアーティスト賞／川口成彦(フォルテピアノ)  
特別賞／猪狩光弘(ステージ・マネージャー)

Make Our Earth Green

